

透明帯電防止コーティング剤

## デナトロン C-169PF

### 特長

- 単層カーボンナノチューブ (SW-CNT) を使用
- 耐候性に優れる
- 耐摩耗性・耐溶剤性に優れる
- 各種基材への密着性が良好

### 用途例

- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

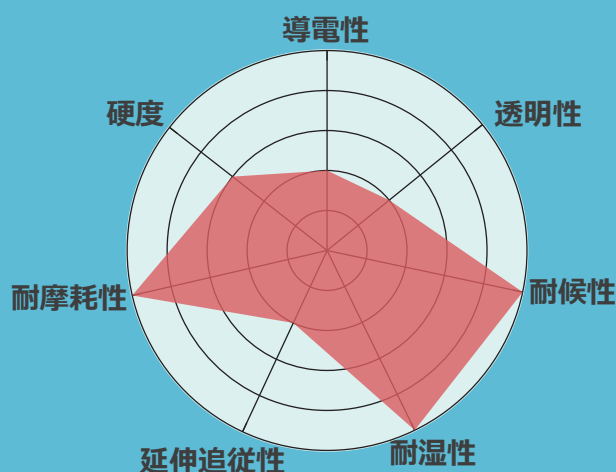
### 液物性

	C-169PF-A	C-169PF-B
外観	黒色	白濁色
主な成分	導電材	架橋剤
主な溶剤	水・アルコール	水
pH	2~3	7~8
粘度	30~40 mPa・s	3~13 mPa・s
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上	6か月以上

混合  
➤➤

C-169PF
混合比率 (wt%) A液 : B液 = 3 : 2
pH = 5~7
固形分 4wt%
フロアライフ 1週間 ※50% 含水エタノール、5倍希釈時

### 膜物性



	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m <sup>2</sup> )	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	A	B	希釈剤			
塗工例 1	30	20	50	10	3×10 <sup>5</sup>	98
塗工例 2	3	2	95	4	1×10 <sup>7</sup>	>99
塗工例 3	1.5	1	97.5	5	1×10 <sup>9</sup>	>99

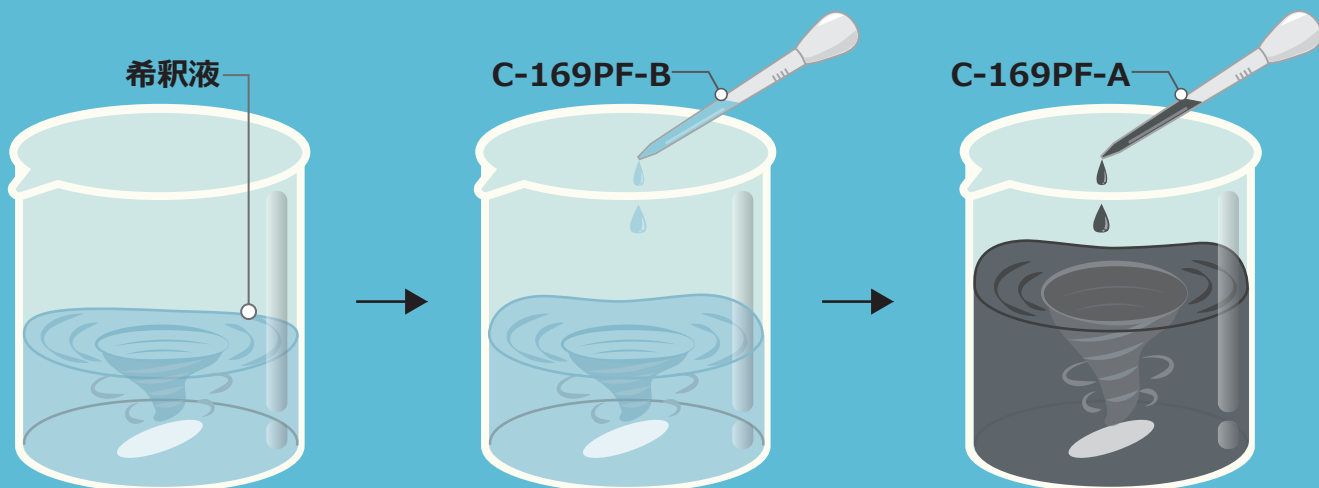
耐候性試験条件 : UV照射 1000hr  
耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr  
耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保證するものではありませんので、予めご理解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。

透明帯電防止コーティング剤

## デナトロン C-169PF

### 液の作製方法



- 1** 希釈液を準備します  
※推奨は 50% 含水エタノールです。  
(水 50wt%+ エタノール 50wt%)
- 2** 攪拌しながら C-169PF-B を添加してください。
- 3** 攪拌しながら C-169PF-A をゆっくり添加してください。

### 塗膜の作製方法

- 1** ワイヤバー、スピン、グラビア、スリット、ディップなど汎用的なコーター装置を用いて塗布してください。  
推奨基材はプラスチックフィルム (PET, PMMA, TAC, PC など) やガラスです。
- 2** 110~130℃、0.5~2 分程度で乾燥してください。  
※乾燥オーブンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ない場合があります。  
その場合は乾燥温度や時間などを上げて、表面のタック性が無くなるまで乾燥してください。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。